令和2年7月教育委員会定例会 会議録

令和2年(2020)7月28日(火)午後2時、出雲市教育委員会定例会を庁議室に 招集した。

1 会議に出席した委員

教	育		長	杉	谷		学
教育委員	員(教育:	長職務代	代理)	水		陽	子
教	育	委	員	錦	田	剛	志
教	育	委	員	金	築	千	晴
教	育	委	員	内	藤	祐	馬

2 説明のため会議に出席した者

教		育	部		長	三	島	武	司
教	育	立口	羽	次	長	松	浦	和	之
教	育	政	策	課	長	常	松	博	雄
学	校	教	育	課	長	金	築	健	志
児	童 生	: 徒	支热	爰 課	長	兒	玉	浩	$\stackrel{-}{\longrightarrow}$
教	育	施	設	課	長	遠	Щ	裕	$\vec{\underline{}}$
学	校	給	食	課	長	石	橋	健	治
出	雲	科	学	館	長	矢	田	浩	
保	育	幼科	生 園	課	長	鬼	村	修	治
学	校	教育	育 課	主	査	Щ	本	芳	正
児	童生徒	走支援	受課書	艮長補	佐	吾	郷	尚	志

3 会議の書記

教育政策課課長補佐 常 松 晃 好

4 傍聴者

1名

開会

(杉谷教育長) 只今から、令和2年7月出雲市教育委員会定例会を開会します。 本日の会議は、お手元に配付しております日程のとおり行います。

1 教育長行政報告

(杉谷教育長) それでは、教育長行政報告を行います。 (以下、報告項目のみ掲載)

(1) 前回以降の動向

R2.6.29	市議会6月定例会閉会
R2.7.1	社会を明るくする運動メッセージ伝達式
R2.7.8	教育委員学校訪問(~14日)
R2.7.8	校長の会議
R2.7.27	いじめに係る校長面接(~8月5日)
R2.7.28	定例教育委員の会議

(2) 今後の予定

R2.7.29	第1回出雲市教育政策審議会
R2.7.30	出雲市議会(臨時会)・全員協議会
R2.7.31	新斐川給食センター竣工式
R2.7.31	県知事・教育長要望
R2.8.3	市長と校長との懇談会
R2.8.7	第2回出雲市教育政策審議会
R2.8.18	出雲農林高等学校コンソーシアム会議
R2.8.18	第3回出雲市教育政策審議会
R2.8.21	校長の会議
R2.8.23	第53回出雲市同和教育講演会(出雲市民会館)
R2.8.25	定例教育委員の会議

(杉谷教育長) 只今の報告で、質問等はありますか。

(各教育委員) ありません。

2 会議録の承認

(杉谷教育長)次に、会議録の承認に入ります。前回6月定例会の会議録について、 何か意見等がありますでしょうか。 (各教育委員) ありません。

(杉谷教育長)特に意見等ありませんので、6月定例会の会議録については、承認します。

3 議事

(杉谷教育長) それでは、議事にはいります。最初に「議第26号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を、教育政策課 常松課長に説明願います。

(常松課長) 資料に基づき説明

(**杉谷教育長**) 只今の、議第26号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長)特に質疑等がないようですので、議第26号について、承認してよろ しいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(杉谷教育長) ご異議ありませんので、議第26号を承認します。

(杉谷教育長)次に、「議第27号 出雲市立学校給食センター職員の勤務時間に関する規則の一部を改正する規則」を、学校給食課 石橋課長 に説明願います。

(石橋課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の、議第27号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長)特に質疑等がないようですので、議第27号について、承認してよろ しいですか。 (各教育委員) 異議なし。

(杉谷教育長)ご異議ありませんので、議第27号を承認します。

(杉谷教育長)次に、「議第28号 出雲市立幼稚園における幼稚園運営協議会委員の辞任及び任命について」を、保育幼稚園課 鬼村課長 に説明願います。

(鬼村課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の、議第28号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長)特に質疑等がないようですので、議第28号について、承認してよろ しいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(杉谷教育長) ご異議ありませんので、議第28号を承認します。

4 報告

(杉谷教育長)次に、報告事項に入ります。報告(1)「「令和2年度 市学力・学習 状況調査結果分析と改善策」について」を、学校教育課 金築課長 に説明願いま す。

(金築課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の報告(1) について、何か質問等はありませんか。

(内藤委員) 各学校で、調査結果を踏まえ説明のあった結果分析と改善策を作成されるということなんですが、各学校の誰が作成されるのでしょうか。

(金築課長)校長先生、教頭先生をはじめ、各学校に、学力向上を担当する先生や学年主任さん等々、学校のすべての先生が、作成に携われると伺っています。

(内藤委員) ありがとうございます。そこが一番重要なことなんだろうなと思います。もう一つ、よろしいですか。「全教職員で共通理解の機会をもち」とありますが、 具体的にはどういうことでしょうか。

(金築課長) 今市小学校と第 1 中学校の昨年の分析結果を載せておりますけれども、 保護者さんや学校運営理事会理事の方々にも説明するうえで、当然、学校の職員全員 が同じ方向を向いて取り組んでいかないといけないということがありますので、校内 研修をされます。また、会議等においても作成した資料を活用し、教職員全員が同じ 方向を向いて学力向上に取り組んでおられるというふうに伺っております。

(内藤委員) ありがとうございます。更に質問よろしいでしょうか。先ほど、地域学校運営理事会という説明がありました。「3 今後の予定」の(4)にもそうした報告が行われるという記載がありますが、その際に理事さんから質問や提案があって、内容に反映された、ということはあるんでしょうか。

(松浦次長) おっしゃいますように、理事さんは、いろいろな立場で参加していらっしゃいますので、それぞれの立場から助言、あるいは、ご意見をいただきます。例えば、PTA代表の方もおられますので、保護者の立場で家庭学習の状況などを報告していただきますし、ふるさと学習を通して子どもたちの学びに対する意欲が高まったり、人との関わりの中から、いろいろなことを学んでいく、そういうことの助言は地域の方からいただいたりします。学校は、それらを学力向上の推進にあたって大いに参考にしながらやっている、というのが現状です。

(内藤委員) ありがとうございます。そういった外部の意見を取り入れてやっているということがわかりました。最後に一つ、これまでホームページ上に公表されてきて、それはよいことだと私も思うわけですが、そのことが誰かの役に立っている、という話は聞かれるんでしょうか。

(金築課長) ホームページ上での公表については、一般的には賛否両論あるところなんですけれども、全国の学力調査、学習状況調査を行っている文部科学省が、分析結果、改善策については積極的にホームページで公表することを推奨していますので、それに従っているというところです。公表の仕方は、市町村によってそれぞれ工夫されていまして、正答率そのものずばり公表される自治体もあります。公表することによって具体的にこういう役に立った、といった報告は、委員会としては、受けたことはありません。

(内藤委員) 公表結果を取り入れられて、例えば塾などで、この子はこの部分を伸ばした方がいいんじゃないかみたいなことがあればいいのかなと思ったんですけど、実際にはプライバシーへの配慮もあるので、なかなか難しいんだろうなと思ってお聞きしたところです。ただもう、文科省が公表することを推奨しているのであれば、やらざるを得ないんだろうと感じました。質問でした、ありがとうございました。

(杉谷教育長) ほかは、いかがでしょうか。

(水委員) 今後の日程が示されていますが、例年こういったスケジュールで進められていましたでしょうか。

(金築課長) 概ね、この日程で進めています。

(水委員) 昨年も似たような発言をさせていただいたと思うんですけど、この調査結果は、児童生徒の学力の「その瞬間の輪切り」というものではあるんですけども、その点数によって、県や市でどうだ、とか、全国と比較してどうだったとかいうことに一喜一憂するのではなくて、教える教員が、今後何に力を入れて授業を展開していくのかっていうところに重きを置くべきだと思うんですね。4月に行われた試験の結果を、私たちは1ヶ月前にいただいているのに、これからようやく学校で議論して、実際、保護者や学校が実行に移せるのが10月ぐらいになる、ということだと、1年の大方半分が終わった後で、分析結果を生かし切れる時間があるのかな、と疑問に思います。この用紙を作ることに力を入れるのではなくて、報告は数字を見ればわかりますので、何とか早い段階で、それを活用できるようなことになればいいかなと思います。

(金築課長)詳細な分析や採点の結果が出るのは、6月末から7月あたまぐらいです。それから学校にデータを提供しますので、実際には、そこからもうすでに分析を始めていらっしゃるんですけれども、学校から提出してもらうのが9月ということです。他方、夏休み期間に本腰を入れて分析をされる学校も多いということもあって、こうした日程になっています。そのうえで、改善策の取組の成果を測るため、今度は12月に県の学力調査がありますので、その結果を検証し、今回の改善策の取組がどうだったか評価する、といったかたちでサイクルをまわしています。結果について、できるだけ分析を早くして、早期に取り組むことが重要であるとの認識であることには変わりありません。

(杉谷教育長) 金築委員さんは、いかがでしょうか。

(金築委員) この議題で発言することではないのかもしれませんが、最近、児童クラブで1年生が宿題をし始めまして、どのような内容かなと思って見るんですけど、絵が表すことばを記入させるもので、今は「詰まる音」をやらなきゃいけないみたいで、「ひょっとこ」の面が描かれているのですけども、「ひょっとこ」が児童も私たちもわかりませんでした。また、四角い建物が書いてあって、「詰まる音」ということと文字数から推測すると、回答は「ひゃっかてん」なんですが、百貨店って今どきないじゃないですか。文字を習ったばかりの1年生の宿題として適当か少し疑問に思いましたし、子どもたちも諦めてしまってやらないんですよ。ほかにも、「出欠」とか、「出発」とか、絵を見てもちょっと言葉で出てこないものばかりあって、これは、どの学校もそうでしょうか。宿題の内容は市内小中学校で決まっているのでしょうか。

(松浦次長) おそらく教科書に載っているものではなくて、その先生が、ご自分で用意をされたものではないかというふうに思います。そうすると、今の実態に合っていないものもあるかもしれません。確かに、その問題は難しいかもしれませんけど、少し発想を変えていただいて、せっかく大人も周りにいるので、「これは百貨店と言ってね、昔は出雲にもあってね」というふうな解説を加えながら、子ども達とのコミュニケーションをとりながらやるのもひとつの方法かなと思いますので、子ども単独でやるのは難しいのかもしれませんけど、それゆえに、大人と一緒にやる分にはいいんじゃないかなと思います。そういう活用の方法もあるのではないかと思って、今聞かせていただきました。ですので、どんどん教えてやっていただけたらと思います。

(金築委員)子どもたちが興味を持つようなものを題材にした宿題にしていただくと勉強できるのかな、と思いました。今流行っているアニメーションのキャラクターの難しい漢字を、学校で習ってもいないのに小さい子どもたちが全部書くんですよ。興味から進んで勉強できるようになると、いいかなと思っています。そういう視点で先生たちにも協力いただけるといいかなと思いました。

(杉谷教育長) ほかは、いかがでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長) 次に、報告(2)「令和2年度(2020)始業式及び終業式一覧」を、同じく 学校教育課 金築課長 に説明願います。

(金築課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の報告(2) について、何か質問等はありませんか。

(水委員)新型コロナウイルス感染症による一斉臨時休業から学校が再開された後に、土曜日授業をされている学校はどれぐらいありましたか。

(金築課長) 中学校 1 校です。6 月に 2 回、7 月に 2 回、合計 4 日間、土曜日を出校日とされました。

(錦田委員)今回、疫病の関係で休業期間がありました。学校の児童生徒さんの学習の進捗、習熟度について、今月の学校訪問では、そういう話まではしなかったものですから、こうして、休業期間を変更しながら、せいいっぱいのところで先生方も対応していらっしゃると思いますので、もしよろしければ、現場の学校の先生の立場の声を聞かせていただけないかなと思います。

(金築課長) 7月に入りまして、私と山本主査と 2人で全学校を回って教頭先生に話を伺ってまいりました。その際に必ず授業の取り戻しの状況や学習の定着の部分、こちらについて質問してご回答いただきました。概ねどこの学校も、すでに通常の 1 学期の授業を終えていらっしゃいます。これは、授業のスピードを上げて追いついたというわけではなく、行事を精選したり 2 学期以降に廻したりした部分で授業コマ数が確保できた、それから、教職員の出張がほとんどなくなり、授業に充てられた、というところが大きな理由になっています。ほとんどの学校がもうすでに見通しを立てておられまして、あとは、学習の定着の部分、通常の 1 学期の授業は完了しているので、夏休みまでの期間に学習の定着のことをしっかりやっている、という学校もありました。授業が遅れて困っているという学校は 1 校もありませんでした。

(錦田委員)ありがとうございました。とても心強い現場の声だなと思いました。一時は、報道のあおりもあって、国民の間に全国的な課題として教育の遅れをどう取り戻すかみたいな話があったと思うんですけど、近日、そういう話があまりテレビ、ラジオ、雑誌等にもなく、もちろん新聞報道でも少なかったものですから、現場はどうなんだろうかと思ってお聞きしました。非常に心強いなと思いまして、これから先どうなるかわかりませんけども、また、現場の先生方は大変だと思いますけども、子どもたちのために、現場で奮起してもらえるように、皆さん方からお伝えいただければと思ったところでございます。

(杉谷教育長) ほかは、いかがでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長)次に、報告(3)「学校閉庁日について」を、同じく 学校教育課 金 築課長 に説明願います。

(金築課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の報告(3) について、何か質問等はありませんか。

(内藤委員) こうした取組をされているということは、やはり休暇取得が学校において取りにくいような現状なんでしょうか。

(金築課長)休暇は、確かに取りにくい現状にあると思います。そうした現状を改善させるために、平成30年に多忙化解消プランを出雲市教育委員会で策定し、その中の一つの取組として学校閉庁日を設定し、休暇の取得促進を謳っているところです。

(内藤委員) 多忙化が進むと、やはり精神状態も悪化するというところで、企業の場合、お医者さんに見てもらったりするわけなんですが、学校の先生の場合は、どう対応されていますか。

(常松課長)学校の職員数の規模に応じて産業医等を置いています。また、何年か前からメンタルヘルスのチェックも導入しています。

(水委員) 出雲市の教職員で、昨年 1 年間に、そういう心身の疾患によって、長期休暇をされる方は何人くらいいらっしゃいますか。

(金築課長) 今、手元に資料がありませんので、後ほど報告させてください。

(錦田委員) 今の質問に関して、多忙化解消プランが始まる前と後の推移、年次変化ですね、プライバシーにかかわることですので難しいのかもしれませんが、そういった統計のようなものがありましたら、教育委員としては知っておいた方がいいかなという気がいたしますので、お示しいただける範囲でご提示いただけないでしょうか。

(金築課長) 承知しましたので、準備させていただきます。

(杉谷教育長) 錦田委員さんの学校の学習状況に関する質問の中で、学校教育課長が申しましたけれども、今年、コロナの影響で各種会議が実施されなかったり、出張に出ることがなくなったり、あるいは学校行事についても 2 学期に廻したものもあれば、今年度は中止されたものもあって、1 学期に限って言うと、授業時数の確保とともに先生たちも子どもに向き合う時間や自分の仕事をする時間を確保できている部分があると思います。その要因が、コロナの影響ではあるんですけども、実際、学校で今までやってきた事柄、あるいは教育委員会もそうなんですけど、実施してきた研修が真の意味で必要なものであったかといったところを見直すひとつのきっかけになっていると思っています。先ほどの休暇の取りにくさの解消についても、単に学校だけに任せるのではなく、こちらサイドでもいろいろと今年の状況から改善していくものはあるのかなというところで、今年がある意味そういうことを考えるきっかけの年になるのかなという気持ちを持っておりますので、少し、今年の取組を来年に生かすということを考えていきたいというふうに思っています。

では、進めさせてもらってよろしいでしょうか。

(各教育委員) 異議なし。

(杉谷教育長)次に、報告(4)「7月臨時議会への提出案件について(補正予算)」 を、それぞれ担当課長から説明願います。

(教育政策課長、学校教育課長、教育施設課長、保育幼稚園課長) 資料に基づき説明

(**杉谷教育長)** 只今の報告(4) について、何か質問等はありませんか。

(金築委員) ICT 教育環境整備事業について質問です。「インターネット環境のない家庭への通信機器貸与分」の台数の根拠は何ですか。

(金築課長) 小学校で約230台、中学校で約340台計上している根拠ということですが、各学校において1軒1軒アンケートをとっていただきました。その集計結果から算出した数字です。

(金築委員) これは、無償で貸与されますか。

(金築課長) 今後整理いたしますが、無償貸与を考えています。

(水委員)スクール・サポート・スタッフは、どういう業務を担う方ですか。また、 12人はどこの学校に配置されていますか。

(金築課長) スクール・サポート・スタッフの業務は、学校の先生が子どもたちと向き合う時間を確保するために、学校の先生が担っている業務の一部を受け持つというものです。具体的には、例えば教室の掲示を張り替えるとか、ちょっとした採点のお手伝いをするとか、教材準備のお手伝いをするとか、配り物の印刷といった業務を担っていらっしゃいます。配置校は、平成30年度から少しずつ増やしていまして、まず、平成30年度は5校配置していました。令和元年度に更に4校、令和2年度は、更に3校増やして12校です。現在の配置は、小学校の児童数が360人以上、中学校の生徒数が500人以上の学校という線引きで配置しております。

(水委員) 学校図書館活用事業ですけども、この予算の配分は、人数割りですか。

(金築課長) 均等割と児童数割りにより、それぞれの学校に配当することとしております。

(杉谷教育長) ほかは、いかがでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長) それでは、報告(5) に移る前に、先ほどの回答がありますか。

(金築課長) 令和元年度中の精神疾患等による休職者の数は、県教諭8名、講師1 名、合計9名です。年次経過については、まだ集計できておりません。

(錦田委員) 小学校、中学校の人数については、わかりますか。

(金築課長) すみません、今はわかりません。

(錦田委員)今、社会問題にもなっているコロナウイルス感染症関連のこともありますし、私の知る範囲でも、学校の先生ではありませんが、精神疾患を理由として退職したという事例も結構あり、大きな問題であるなということを痛感していまして、教育委員としては、やはりそういう問題をできるだけ解消すべく、今後、施策に反映していかなければいけないんじゃないかということを強く今思っております。差し支えない範囲で、そういったものの統計を一度経年変化でお示しいただく機会を設けてい

ただけないかなと、この場でなくても、非公開の場でもいいんですけれども、どういったところに問題があって、どういったことが教育委員として取り組むことができるかを協議できる場があるといいなと思っているところでございます。

(金築課長) 了解しました。お示しできる範囲で資料を準備したいと思いますので、 次回以降、よろしくお願いします。

(杉谷教育長) それでは、報告(5)「学校訪問について」 を、 教育政策課 常松 課長 に説明願います。

(常松課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の報告(5) については、教育委員さん、それぞれに感想やご意見をお願いします。

(水委員) 設備の違いとか、あるいは建物の経年変化とか、いろいろなところを見させていただきましたけども、一つだけ残念だったのがすずらん教室で、以前訪問した時に比べ少し改善はみられましたけれども、やはり建物、例えばトイレの関係などが全く改善されていなくて、この教室はこのままずっとあの建物を使うつもりなのかな、と不安に思いましたことと、やはり、学校へ通うことが難しくなったお子さんたちこそ、リモート授業を受けられるような環境を早急に整備することを考えていく時期になっているのかな、と2回目に訪問して改めて思いました。

(杉谷教育長)事務局からコメントがあれば、委員の発言がすべてあった後にお願い します。次に、錦田委員、お願いします。

(錦田委員) 私は、3日間の訪問全てに参加させていただきました。児童生徒が落ち着いてしっかり学んでいるなということを感じました。また、不登校の児童生徒についてその都度お聞きしている中で、今回訪問した学校では減少傾向が見られるというふうにお聞きして安心したところです。いずれ、教育委員会の場で不登校児童生徒の統計のお話があろうかと思いますけども、少しずついい方向が見えたのはどういった要因であったかということを、今後精査されればいいのかなと思いました。それから、ハード面なんですけども、使用していないブラウン管のテレビが設置されたままになっている教室がありまして、落下事故が発生すると、小さい子どもたちには危険です。これは、予算云々の話ではなくて、外せばいいことだと思います。また、かなり劣化していて、天井と接続する部分が腐食しているロールスクリーンがありました。

あれなどは案外盲点だったのかなと思いまして、立派な震災対策も大事ですけど、そういう身近なところの対応は、学校ですぐできることではないかと思いましたので、 しかるべき対応を、また事務局の方からお願いします。

(金築委員)去年は初めてでしたので、少し緊張していましたが、今年は割と余裕を 持って見させていただくことができました。子どもたちも伸び伸びと勉強していて、 割と落ち着いている感じがしました。去年は、訪問した学校は違いますけれども、も う少しざわざわしていた印象があったんですが、今回は、しっかり座って勉強に参加 しているという感じがしました。また、去年気が付いたことで、机や椅子がすごくや かましく、椅子を引いたりするときの音が強烈で、あれでは授業に集中できないなと 思った印象がありますが、今年はそれが1校もなくって、改善されたのかな、と思い ました。ちょっと気になったのが、教室が狭くて、「密」の状態かな、と感じました。 中学生くらいになると体も大きくなるので、圧迫感というか、教室の中に30人以上 いると、「密」です。教室の換気もされていましたが、生徒自身もちょっとつらいかな という気もしました。それと、学校によって教室の温度が違うと感じまして、湿度何 パーセントとか、室温何度くらいが適温、といった基準があるといいのかなという気 がしました。あと、校長先生とお話する中で、最近は、保護者さんとのコミュニケー ションの取り方が難しくなっているなという気がしました。保護者さんへのサポート を学校がしていくというのもちょっとおかしいかもしれませんけど、やはり、お父さ ん、お母さんが笑顔でいることが、子どもの一番の安定に繋がると常々感じていると ころでして、どういう方法が有効であるかはわからないんですけど、お母さんたちの 不安感とか困り感とかを解消してあげて、お母さんたちが穏やかに、おおらかにおら れるということが大事かなと思っております。そのサポートを教育委員会でも何か提 案できれば、と思いました。あと、「自己肯定感を高める教育」というふうに、どの学 校も大体書いてあるんですけど、なかなか子どもたちは自分を肯定することが難しく って、それは、おそらく親がそういうふうにしてやらなきゃいけないと思うんですけ ど、そのために、対親に対してやらなければいけないことも取り組んでいって、「子ど もは子どものままでいいね」と思うような教育ができる現場がつくれるといいかなと 思いました。

(内藤委員) 私は、初めて学校訪問に行かせていただいて、古い学校、新しい学校ある中で、それぞれ工夫して使っておられるっていうのは、とてもすごいことだなあと思って見ていました。コロナ対策については、今後、更にやっていかないといけないことなんですけど、モニターを使われるなど対応していかれると思っているので、そこはあまり心配はしないんですが、先ほどのブラウン管のテレビなどの件は、私も気にはなっていました。それと、些細なところなんですけど、樋の水があふれ出ている

ようなところもあったりして、やはり、そういうところは多少お金をかけてでも、早めに直してあげた方が、今後、子どもたちのためにもなりますので、そこだけはやってあげてほしいなと感じました。いずれにしても、私は、授業については、先生がそれぞれ工夫されていましたので、非常によかったなと思って見させていただきました。

(杉谷教育長) 私たちそれぞれが視点を持って見てきたので、様々に感じるところがあったかと思いますけど、事務局の方から、先ほどの感想やご意見に対してコメントがあればお願いします。

(兒玉課長) 先ほど、すずらん教室の環境というお話がございました。ご存知のように、「出雲こどもホーム」をお借りして、すずらん教室を運営しています。委員ご指摘のとおり、トイレの問題をはじめとして、毎年教室の方から要望が出されておりますが、事務局でも優先順位をつけながら対応しているところで、今年度は、エアコンの設置や教室の改修を行っております。施設の老朽化もございまして、なかなか全ての要望には対応しきれない部分も、正直言ってございます。ですが、できる限りのことは対応していき、子どもたちの学びの支援をしていきたいというふうに考えています。それからもう1点、リモート学習についても、先ほどありました GIGA スクール構想の中で検討していかなければいけないということで事務局でも話をしているところです。

(園山課長) 施設面に関して、いろいろとご意見をちょうだいしました。まず、ブラウン管テレビですけども、確かに、重たい不用なものが吊ってあるだけ、という状況で、決していい状況ではないということは、私どもも把握しております。学校からは、年間で約1千件、営繕要望が上がってまいります。それに加えて、各種法令点検で、ご指摘をいただくところもたくさんございまして、その中で優先度を判断しながら個々に取り組んでいるところでございます。ブラウン管、そしてスクリーンのお話もちょうだいしましたので、それらを含め、今後優先順位を検討し取り組んでまいりたいなというふうに思っております。樋の水が溢れる案件があったことも聞いておりまして、現地の方もすぐに見させていただいて、対応しているところでございます。最後に、エアコンの温度設定でございますけども、市でエアコンを設置した際は26度から28度に設定しております。ただやはり、最上階ですとか、西日が当たる箇所とかは、26度から28度では効きが悪い、そういったところに関しては、もう1、2度くらい設定を下げています。いずれにしろ、その範囲の中において、校長先生の判断の中で、適切に運営していただいている、といった状況です。

(杉谷教育長)また、違う学校も見ていただいて、ご意見をいただけたらというふうに思っております。保護者サポートについては、本当に重要な問題で、子どもたちがいろいろな姿を見せる背景には、家庭の状況が見え隠れしているということが、例として多くあるように私も思っております。福祉との連携とか、あるいは関係者が集まっての家庭支援に関する会議なども学校でされているところですので、教育委員会としてもできるだけ適切にサポートが入るようにしていきたいと思っています。ただ、ご家庭によって、なかなかそういう支援を受け入れられないというところもあって、それが一番難しいところかなと思いますし、そのことで、やはり子どもたちが示している姿がなかなかいい方向に向かないというのも現実ありますので、時間がかかるかもしれませんが、丁寧に、学校と連携して対応していっているところです。今年度、また学校訪問がありますので、よろしくお願いします。

5 その他

(杉谷教育長) それでは、「その他」に入ります。教育委員会の後援・共催事業について、教育政策課 常松課長 に説明をお願いします。

(常松課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の報告について、質問等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長) その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

(各教育委員) ありません。

6 次期教育委員会の開催時期

(杉谷教育長)次期教育委員会の日程ですが、8月25日(火)の、午後1時30分から、くにびき大ホールで開催いたします。

閉会

(杉谷教育長)以上をもちまして、令和2年7月出雲市教育委員会定例会を閉会します。

(15:33) 定例教育委員会閉会